

《0歳児の保育で大切にしたい経験》（例）

- 安全で清潔に過ごせる空間や時間が保障され、心地よい関わり・環境の中で、ゆったりと過ごす。
- 食べること、寝ることなど生理的欲求が満たされ、心地よく過ごすことができる生活のリズムの感覚が芽生えていく。
- 自ら体を動かし、様々に周囲に働きかけ、体を動かす心地よさ、身の回りの世界が広がる楽しさを味わう。
- 表情、発声、体の動きなどで自身の思いを表し、様々な心の動きを十分に受け止めてもらう中でやり取りを楽しむ。
- 身近な環境に興味関心を寄せ、見る、聞く、触る、持つ、声をかけるなど身近なものに関わる中で諸感覚を十分に働かせて遊ぶ。

など



1・2歳児の保育

- ◎ 1・2歳児の保育では、子どもの生活の安定を図り、自分でしようとする気持ちを尊重し愛情豊かな、受容的・応答的な関わりが基本となることを踏まえ、以下に示す視点を参考に、教育・保育の実践を進めていきます。

《1・2歳児の保育で育みたい力》

- 健康な心と体を育て、自ら意欲的に生活をする力
- 身近な人々と親しみ、一緒に生活し、いろいろなことを自分でしてみようとする気持ちを育て、人と関わろうとする力
- 周囲の様々なものや事柄などに興味や関心をもって関わり、それらに親しみ、生活に取り入れていこうとする力
- 感じたことや経験したことなどを自分なりの言葉で伝えようとしたり、相手の話しに関心をもって聞こうとしたりする意欲を育て、言葉を楽しむ感覚や言葉で表現しようとする力
- 周囲の様々な環境との関わりを通じて、自分の気持ちに気づき、感じたことや考えたことを自分なりに表現することで、心の中のイメージを豊かにし、自分らしく表現する力

《1・2歳児の保育で大切にしたい経験》（例）

- 愛情豊かに受け止められ、欲求を満ちし、安定感をもって生活する中で、自分でいろいろなことをやってみようとする。
- 食事や午睡、遊びなど園での生活のリズムが形成されていく中で、生活習慣を徐々に身に付けていく。
- 全身を様々な使う遊びや指先を使った遊びなどを楽しむ。
- 園外を含め、戸外で様々な体を動かす、いろいろな事物や人との出会いや関わりを楽しむ。
- 身近な人と心地よい関わりを持ち、自分や相手の気持ちに気付いたり、関わり方を身に付けたりしていく。
- 充実した遊びや友達との関わりの中で、決まりや生活の仕方を意識するようになっていく。
- 行動範囲の広がりに応じて、探索活動や身近なものを使うことなどを試したり、やり直したりしながら心ゆくまで行い、発見・感動をする中で、いろいろなものや事柄などへの興味・親しみをもつ。
- 身近な人の言葉を理解し、絵本などを楽しむことを通じ、自分から言葉を使おう



水をここに入れるの、楽しい

とし、やり取りや挨拶などを楽しむ。

- 遊びや生活の中で、身体のいろいろな感覚を働かせて、様々なものの感触や性質、自分の体の動きなどを楽しむとともに、自分の気持ちや興味・関心、イメージなどについて、自分なりに表そうとする。

など



ボタンはめ、自分でやりたい



仔馬になって

3歳以上児の教育・保育

◎3歳以上児の教育・保育では、一人ひとりの子どもの情緒の安定を支え、個の成長と集団としての活動の充実を図ることが基本となることを踏まえ、以下に示す視点を参考に、教育・保育の実践を進めていきます。

《3歳以上児の教育・保育で育みたい力》

- 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力
- 他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力
- 周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力
- 経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力
- 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力、豊かな創造性

《3歳以上児の教育・保育で大切にしたい経験》（例）

- 園の内外で、思い切り体を動かす気持ちよさを感じながら、充実感をもって遊び生活する中で、様々な体の動かし方を身に付けていく。
- 園の生活を通じ、健康な生活のリズムや生活の仕方を身に付ける。
- 友達との場や物、イメージの共有や互いの気持ちの共感などを通して、一緒に遊ぶ楽しさ、友達のよさを感じながら、葛藤を乗り越え、やり遂げる喜びを味わう。
- 身近な出来事や地域の生活に興味や関心をもち、自分の生活や遊びに取り入れようとする。
- 生活の中でもものの色や形などに関心をもち、作ったり試したりすることなどを通じて仕組みに気付いたり、数や量、文字などに興味をもち使ってみようとする
- 身近な自然や生き物などへの興味・関心をもち、変化などに気付いたり、不思議さを感じたりする。
- 自然や生き物、身近な事象や事柄がもつ特徴や法則などに気付いたり、面白がったりしながら、興味・関心を広げ、深めていく。



リズムを合わせる、息を合わせる

- 安心して自分の気持ちや経験などを表し、相手の話を聞こうとする中で、言葉を交わす楽しさを味わう。



「水が流れていくところに、池を作ろうか」

- 生活の中で必要な言葉を知るとともに、言葉の楽しさや美しさを感じながら、友達と思いや考えを伝え合い、相談しながら遊びや生活を進める。
- 気に入ったこと、興味や関心をもったことに没頭し、夢中になって遊び込んだり、自分なりの表現を楽しみ表現する喜びを味わったりする。

など



もっとよく見てみよう

5 歳児後半の子どもの姿から、小学校の教師と子どもの育ちを共有する視点

◎以下の、要領・指針等に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい」子どもの姿を活用し、小学校以降の育ちも見据えながら、一人ひとりの子どもに育ちつつある資質・能力を捉え、指導の参考とします。その際、こうした姿が到達すべき目標ではないことや、個別に取り出されて指導されるものではないことに十分に留意します。また、小学校の教師との視点の共有に積極的に活用していきます。

○ 園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

○ 身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

○ 友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。



一緒に考えた劇の道具が、もうすぐ完成

○ 友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

○ 家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園・保育所等内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

○ 身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

○ 自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究